

TOPICS

図書館の来館者数が1万人を突破

8月23日(木)、図書館の来館者数が1万人を突破し、館長から認定証と記念品が贈られました。6月10日のオープンから、およそ2か月半での1万人達成となりました。記念すべき1万人目に来館したのは、赤浜在住の小國真帆子さん。小國さんは「おしゃっちで催されるクラフト教室に参加して、その他にもよく訪れます。駐車場も広くて来やすいし、学生さんや知り合いにもよく会うので、誰もが使いやすい良い施設だと思います。家族も本が大好きなので、これからも利用したいです」と語ってくれました。



出張絵本サロン

手遊びうた、紙芝居、エプロンシアターなどのお話のほか、クイズラリーやお魚釣り、絵本のプレゼントなどもあるよ!

10月7日(日) 10:30～12:00

【場所】おしゃっち 1階 多目的ホール
【主催】3.11 絵本プロジェクトいわて

読み聞かせ会

9月15日(土) 11:00～

【場所】3階ミーティングルーム
【協力】大槌町図書ボランティア このゆびとまれ

ペーパークラフト教室

10月6日(日) 10:00～

【対象】幼児から小学生まで
【場所】3階ミーティングルーム

【9月の休館日】 毎週火曜日、第3木曜日(9/20)

【図書館利用案内 その4】

予約・リクエスト 貸出中の資料は予約することが出来ます。カウンターへお申し出ください。

《予約できる数》 図書・雑誌(リクエスト・相互貸借含む) 5冊以内

《資料の受け渡し》 予約資料の準備が出来次第連絡します。

※連絡日から1週間を取り置き期間とし、過ぎた場合はキャンセルさせていただきます。
図書館閉館後は22時まで、おしゃっち1階の受付カウンターで予約資料を受け取る事が出来ます。図書館閉館後に資料を受け取る場合には事前申し込みが必要となります。

☎ 図書館 TEL.0193-42-7226

おしゃっち event

復興応援 大槌町公演! 劇団青い鳥 ショートショートシアター「普通の人々」公演

東京・大阪・茨城・鹿児島各地で絶賛を博した劇団青い鳥の珠玉の名作を大槌町で初公演。今回は3人役者が11人の役を演じ分け、まるで本のページをめくるように五つの物語を紡いでいく。

9月23日(日) 14:00開演(13:30開場)

【場所】大槌町文化交流センター(おしゃっち) 多目的ホール

【入場料】大槌町民1000円、中高生500円、小学生以下無料、一般2000円

【主催】NPO法人吉里吉里国 【共催】大槌町
【チケット販売・問い合わせ先】0193-43-1018
e-mail: info@kirikirikoku.org



題目:「普通の人々」

内容:喫茶店で対峙するアンバランスな男と女。長い歳月をともにした夫婦が隠し続けた心の壁と部屋の壁。夜の帳が覆う河べりの道。ひとりぼっちで歩く少年が出会った暖かな奇跡。

ひょうたん島文庫とは...

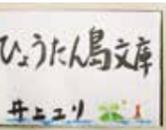
吉里吉里地区が突如として独立宣言をする「吉里吉里人」や「ひょうこりひょうたん島」の作者である井上ひさし氏の著作や井上氏縁の著作等を配架した「ひょうたん島文庫」を図書館に設置し、「今月の1冊」として井上氏の作品を随時紹介しております。

文庫の表示は、井上ひさし氏の著作権及び公式サイトを管理している井上事務所より、井上氏の文字を使用した「ひょうたん島文庫」の表示の寄贈を受け、井上夫人のユリ氏にも文庫名を書いていただきました。

井上夫人には、震災後間もなく義援金を頂戴したり、ひょうこりひょうたん島の音源の著作権フリーや出版物の献本など様々な形で大槌町を支えていただいております。

井上ひさし氏生誕の地は山形県川西町にあり、そこにある遅筆堂文庫からも井上ひさし著作本を献本していただいております。

大槌町立図書館は東日本大震災資料の収集にも力を入れており、図書館の特色としていますが、「ひょうたん島文庫」も多くの皆さんにご覧いただきたいと考えております。



7月28日 独創性あふれる力作ならぶ ~砂の芸術祭in吉里吉里海岸~

7月28日(土)、吉里吉里海岸の夏の風物詩、「砂の芸術祭」が行われ、参加者たちが砂の彫像の出来栄を競いました。イベントにエントリーしたのは吉里吉里学園の3年生、5年生、9年生の各チームとや釜石から参加のチームら合わせて7チーム。あいにくの曇り空でしたが、参加者たちはチームでデザインした作品を協力して仕上げ、海岸には美しい彫像がずらりと並びました。

優勝したのは「オーチャンズ9」。ひょうたん島の下に埋まっている素敵な宝物を表現しました。その他、2位に「限界を超える〜」、3位には「小笠原左官工業」が輝きました。



7月29日 末広町よ市&どうでしょうキャラバンに2,000人超

北海道テレビ放送の人気番組「水曜どうでしょう」のキャラバン隊イベントが、昨年復活した「末広町よ市夏祭り」と同時開催となり、7月29日(日)、会場となったおしゃっちと末広町商店街には2,000人を超える人々が集まりました。全国各地から番組のファンも数多く訪れ、住民の皆さんと一緒に、ステージイベントや商店街いっばいに並んだ出店を楽しんでいました。昨年に続き雨模様となりましたが、会場は打ち上げ花火によるフィナーレまでにぎわいを見せました。



8月5日 支援への感謝をこめて ~ありがとうロックフェスティバル開催~

8月5日(日)、東日本大震災津波被害に対する支援への感謝を発信する、「おおつちありがとうロックフェスティバル」が開催されました。7回目を迎えた今回は、大槌町中央公民館を会場に行われ、超満員となった室内のステージは、大変な盛り上がりを見せました。町外から参加した男性は、「何度も来ていて、会場も毎回違いますが、それもこのフェスの味。町の姿も年々変わっている。みんな一生懸命、復興に向かって行っているのが分かる」と熱く語ってくれました。



8月21日 (株)千田精密工業 代表取締役 千田伏二夫さん 旭日単光章を受章

大槌町の誘致企業である(株)千田精密工業代表取締役の千田伏二夫さんが、春の叙勲において栄えある旭日単光章を受章され、8月21日(火)、町長から記念品が贈呈されました。千田社長は、高い技術力とものづくり人材の育成による、長年に渡る中小企業振興功労とともに、東日本大震災における被災地の復興・復興への貢献や、一般社団法人岩手県発明協会会長としての知的財産制度の普及啓発など、多方面に亘る社会貢献活動を認められ、経済産業省からの推薦を受けてこの度の受章となりました。

千田社長は町長に、「震災後、自分たちにできることをまずやろうと行動してきたけど、それを評価してもらえたのかな。これからも大槌のために頑張るのでよろしくお願いします」と述べ、固い握手を交わしました。

〈会社概略〉

(株)千田精密工業(本社・奥州市前沢区)は、大槌町の誘致企業として平成6(1994)年11月、柵内に大槌工場を立地しました。大槌工場は平均年齢30歳代の若い力52名が集い、本社工場、東和工場と合わせた3工場の中でも、設備、人員ともに同社の主力工場として位置付けられています。

